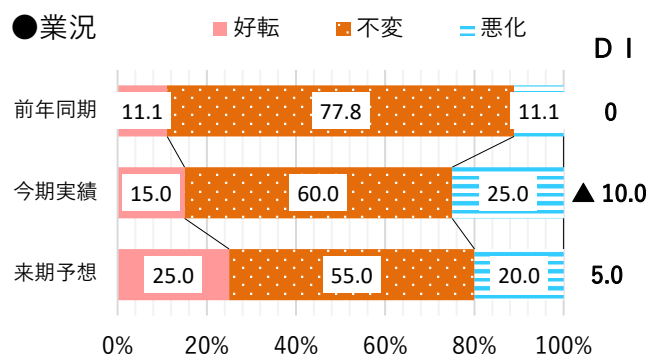


サービス業

業況、売上、採算

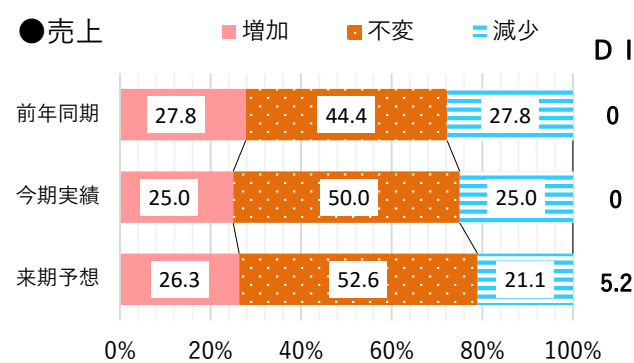
今期（2026.1～3）の業況DIは▲10.0で、前年同期（2025.1～3）と比べ10.0ポイント低下しました。

来期（2026.4～6）の業況DIは今期（2026.1～3）と比べ15.0ポイント上昇すると予想しています。



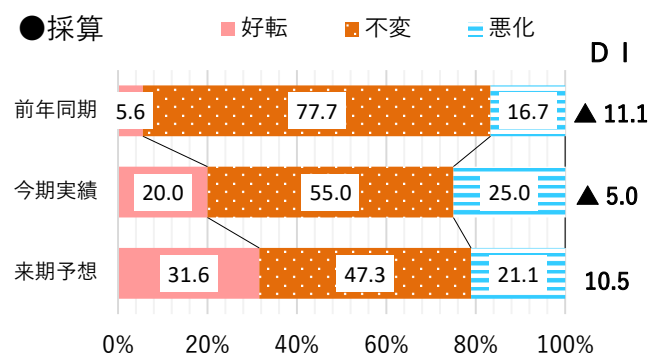
今期の売上DIは0で、前年同期と比べ変化なしとなりました。

来期の売上DIは今期と比べ5.2ポイント上昇すると予想しています。

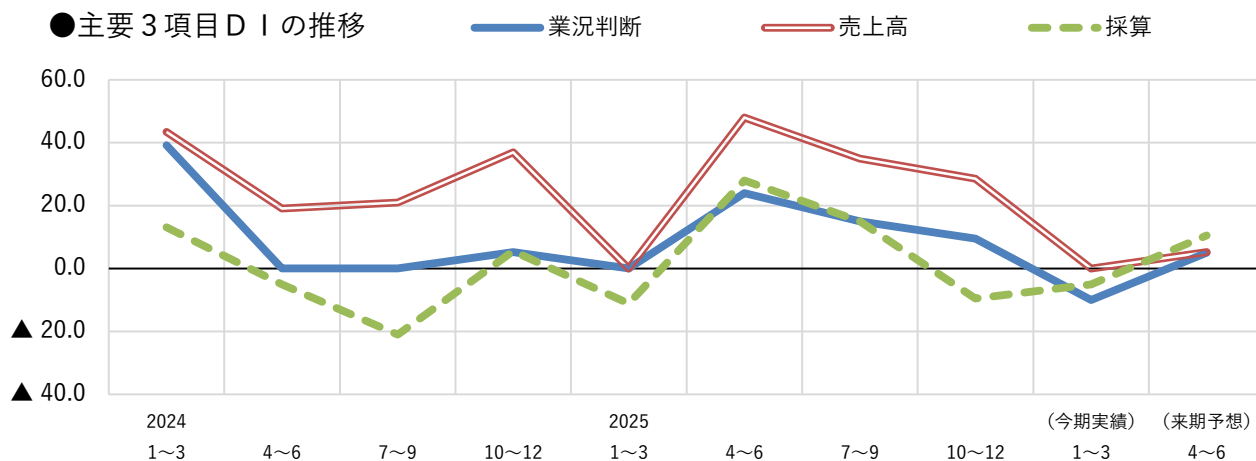


今期の採算DIは▲5.0で、前年同期と比べ6.1ポイント上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ15.5ポイント上昇すると予想しています。



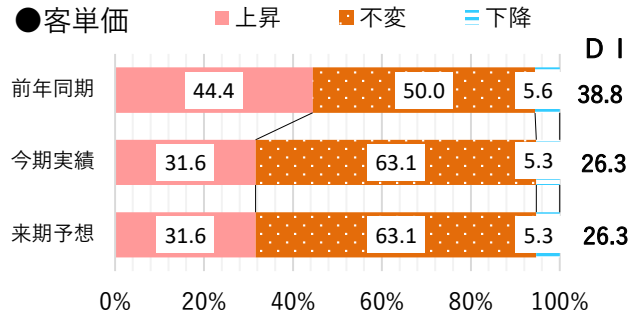
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

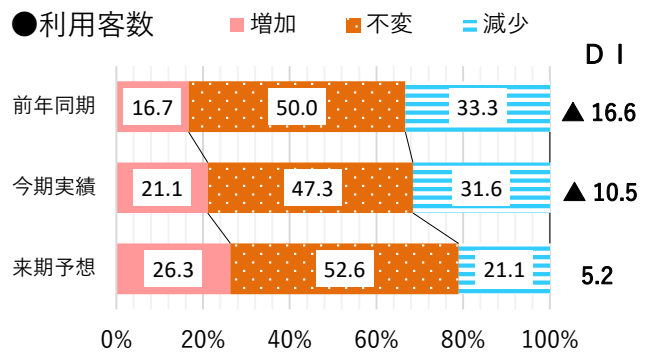
今期の客単価DIは26.3で、前年同期と比べ12.5ポイント低下しました。

来期の客単価DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



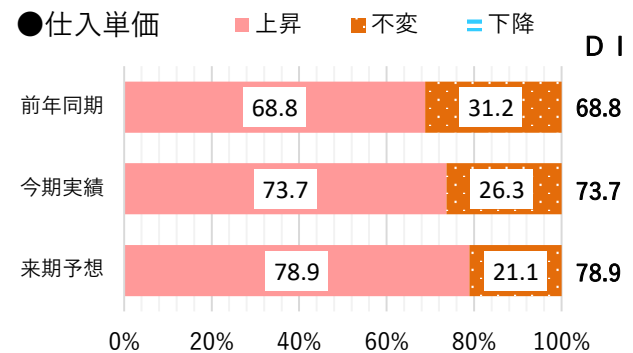
今期の利用客数DIは▲10.5で、前年同期と比べ6.1ポイント上昇しました。

来期の利用客数DIは今期と比べ15.7ポイント上昇すると予想しています。



今期の仕入単価DIは73.7で、前年同期と比べ4.9ポイント上昇しました。

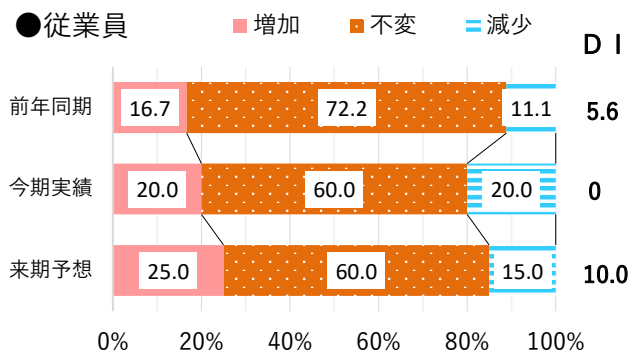
来期の仕入単価DIは今期と比べ5.2ポイント上昇すると予想しています。



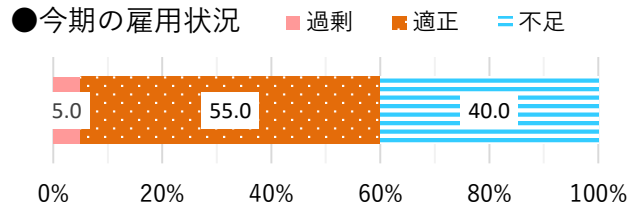
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0で、前年同期と比べ5.6ポイント低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ10.0ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業は5.0%、適正であると回答した企業の割合は55.0%、不足していると回答した企業の割合は40.0%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、35.0%を占めました。

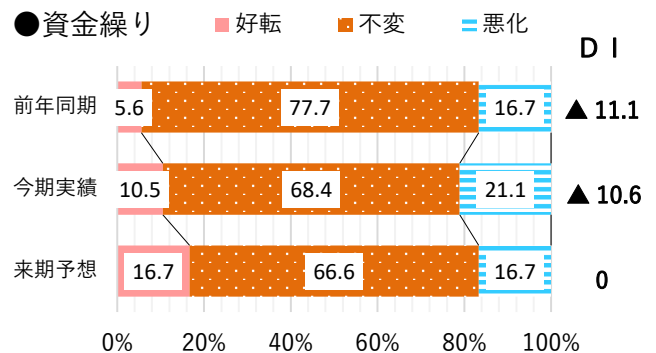
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	15.0%
	不足	5.0%
不変だった	過剰	5.0%
	適正	35.0%
	不足	20.0%
減少した	過剰	0%
	適正	5.0%
	不足	15.0%

※回答総数20社

資金繰り、設備投資

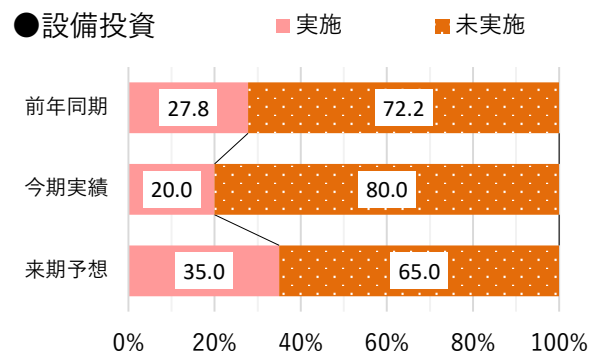
今期の資金繰りDIは▲10.6で、前年同期と比べ0.5ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ10.6ポイント上昇すると予想しています。



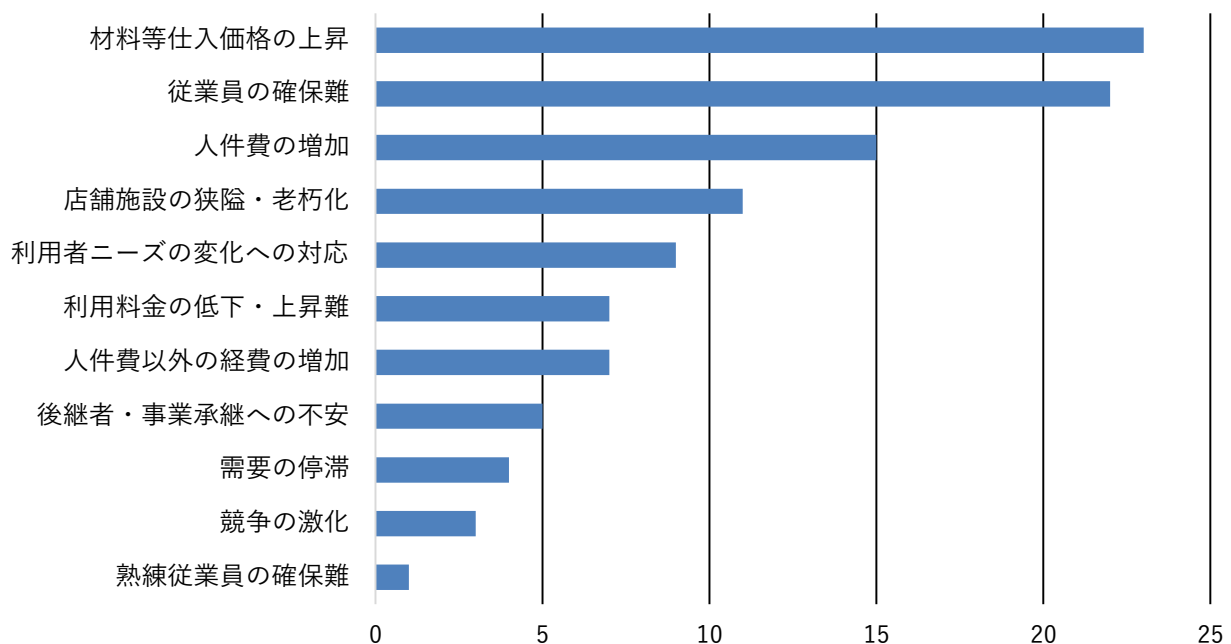
今期の設備投資は20.0%が実施と回答し、前年同期と比べ7.8%低下しました。投資内容は、1位が「建物」「サービス設備」「車両運搬具」「付帯施設」（同位）、2位が「福利厚生」でした。

来期は35.0%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「材料等仕入価格の上昇」、2位が「従業員の確保難」、3位が「人件費の増加」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 観光客比率が高まっているが、高市首相の発言による中国人観光客の減少が売上に響いている。また、扶養控除額の上限引き上げがあったが最低賃金の上昇を考えると上限の撤廃を望む。加えて、アメリカによるイラン攻撃も大きな不安材料である。（飲食店）
- 仕入価格が上昇し、冬場の来客数が若干減少した。（飲食店）
- 最低賃金の上昇分を価格転嫁したことで売上は上昇したが、利益率の変動はほぼ無い。
（ビルメンテナンス）
- 売上額が増加した。（広告代理業）
- 全体の利用客は減少している一方で、インバウンドの影響により外国人利用客は増加している印象を受ける。（写真業）
- 客単価、売上額は僅かに上昇したが昨年秋から仕入価格も上昇し、業況は不変だった。（写真業）
- リネンサプライ事業は病院、医院の閉院により客数が減少傾向にあるが、契約物品の増加と値上げにより売上が上昇し、利益を確保している。人材確保では時給を上げて対応したが、1500円まで賃上げが進むことを想定すると先行きは厳しい。病院の診療報酬改定に期待している。（各種物品賃貸業）
- 最低賃金の上昇があり、人材確保の難しさを感じている。（廃棄物処理業）
- ガソリン代や新規ソフト導入費、生成AI関連のコストが上昇しているが、現状は自社で吸収可能で、業況は不変である。（情報処理・提供サービス業）
- 大雪の影響でキャンセルが多く、売上は現状維持となった。仕入価格の上昇が続いていたが少し落ち着きを見せた。（美容業）
- 新業態を立ち上げる計画をした。（出版業）

[来期の業況について]

- 観光客、地元客ともに増加を見込み、業況の好転を期待する。(飲食店)
- 観光シーズンに入るので売上の上昇に期待する。(飲食店)
- 原油価格高騰の影響がどの程度でるか予測がつかない。(ビルメンテナンス)
- 売上額は変わらないと見込む。(広告代理業)
- エネルギーの高騰と仕入価格の上昇で採算の悪化を見込む。(写真業)
- 病院の診療報酬改定の影響で業績の変動を見込む。(各種物品賃貸業)
- 仕入価格は上昇を見込み人材確保の予定はない。売上については不変と予想する。
(情報処理・提供サービス業)
- 前期のキャンセル分が今期に流れてくると思うので売上の上昇を見込む。また、賃金と人材確保はともに変化なしと予想する。(美容業)
- 新業態の発展を進めていけば、売上も見込める。(出版業)
- 新卒採用は好調で、従業員の増加に伴い売上の上昇を見込む。(スポーツ施設)